

内科

Internal medicine

(2020年11月より、内科・消化器内科・呼吸器内科・膠原病内科・腎臓内科・糖尿病内分泌内科に細分化)

病院設立当初より、内科は地域医療を支えるため、他診療科や地域の先生方と連携し診療を行って参りました。救急医療体制も整え対応しております。これまで諸先輩の先生方が築かれた実績を継承しつつ、より専門性を高め、最新技術も積極的に取り入れ、今後も引き続き地域の皆様のニーズにお応えし、信頼される医療を提供できるよう診療して参ります。

消化器内科

Gastroenterology



当科は、消化管・胆膵領域を中心に腫瘍性、炎症性病変など幅広く診断・治療にあたっています。特に腫瘍への内視鏡検査・治療数や炎症性腸疾患患者の通院数は山口県でも有数で、またピロリ菌の特殊除菌外来やカプセル内視鏡など当院以外に対応が難しい診療もしています。

今後も最先端の内視鏡や薬物治療を推進していきます。



呼吸器内科

Respiratory medicine

2004年に呼吸器内科専門医が着任しています。気管支内視鏡検査を積極的に行い、COPD、気管支喘息、間質性肺炎、肺癌など、山口市内唯一の常勤医として、他科や多職種と連携し、広域な医療圏への対応に努めています。



膠原病内科

Rheumatology

当院は山口県では数少ない内科系リウマチ専門医の在籍する病院であり、1994年から九州大学より派遣を受けてSLEや関節リウマチを始めとした様々な膠原病を診療しています。2020年度より常勤2名体制となり、今後も近隣の市町村も含めた地域の膠原病診療に貢献していきます。



腎臓内科

Nephrology

当科は平成8年に開設されました。急性腎不全の管理、経皮的腎生検、保存期慢性腎臓病の進行予防、腎代替療法の選択外来、血液透析／腹膜透析の導入および維持、体外循環を伴う治療(CHDF、血漿交換等)、シャント手術やシャントPTAなど、幅広く対応しています。



糖尿病内分泌内科

Diabetes Endocrinology

インスリン発見(1921年)とほぼ同時期に山口赤十字病院(1920年)は開設されました。この100年間で大きな進歩を遂げた薬物療法と血糖モニタリング法を十分に活用しながら、これからも糖尿病チーム全体で地域医療に貢献します。



脳神経内科

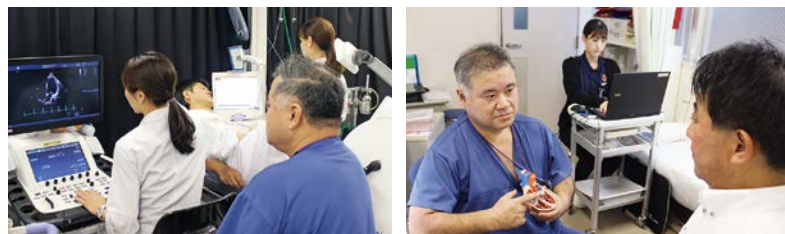
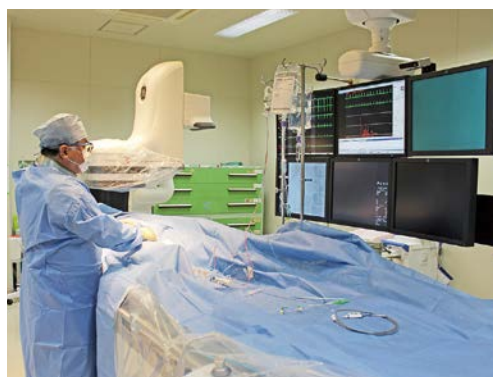
Neurology

2000年に開設され、当初は一人体制でゼロからのスタートでしたが、現在は常勤医3人体制を安定して維持できるようになり、救急患者の受け入れを含め、院内や地域のニーズに積極的に対応できるようになりました。高齢化の波が押し寄せる中、当科の役割は今後ますます大きくなるはずです。



循環器内科

Cardiology



当科は、1999年(平成11年)から循環器疾患の診療を担当する専門内科として、内科から独立して診療を開始し、現在に至っております。

当科の基本診療方針は、“ガイドライン・最新の知見に沿った診療を実施すること”、“個々の患者さんそれぞれに最も見合った治療を提供すること”です。今後も、循環器領域の全ての疾病に対する診断・治療のみならず、疾病発症の抑止・救急医療の領域でも、地域医療に貢献していくことを使命と考えています。

緩和ケア内科

palliative care



精神科

Mental



小児科

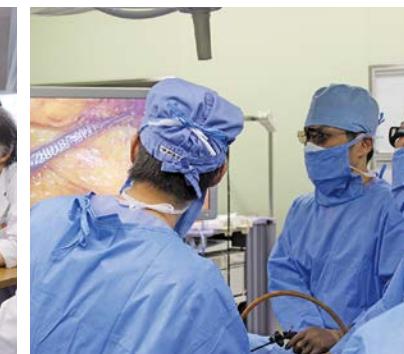
Pediatrics



当院は、山口・防府・萩医療圏の小児救急医療拠点病院として、24時間体制で小児の入院を受け入れています。また、地域周産期母子医療センターとして、ハイリスク出産に際しての産科との連携や、低出生体重児・心疾患等の合併症を持つ新生児の診療を行っています。2010年から周辺地域の先生方のご協力を得て、山口・防府地域夜間子ども急病センターを開設し、一次・二次救急の円滑な連携を実現し、地域医療に貢献しています。

外科・乳腺外科

Surgery / Breast Surgery



当院外科は8名の外科医が診療に携わっています。良性疾患から悪性疾患まで幅広く診療を行っており、治療も手術、がん薬物療法、緩和ケア、栄養管理などに自ら関わることを基本にしています。治療方針は他職種との連携を行って、主にカンファレンスで決定しています。

脳神経外科

Neurosurgery

当院脳神経外科は、九州大学大学院医学研究院脳神経外科の専門研修における関連施設として研修プログラムの一翼を担っています。脳神経外科領域の疾患全てに対し、予防・診断・手術を含めた治療そして救急医療において地域医療に貢献していくことを使命と考えています。



整形外科

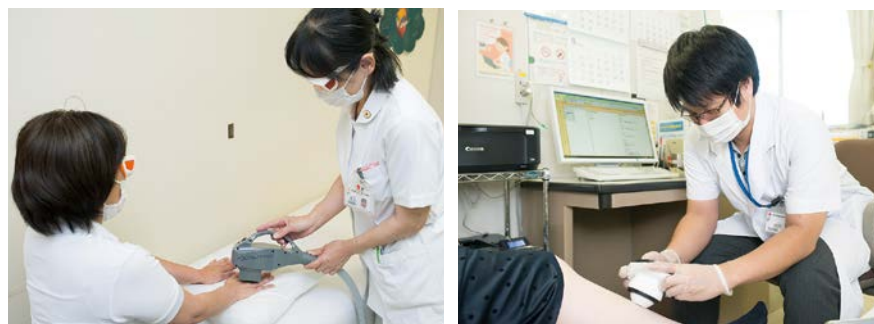
Orthopedics



当科は関節外科及び救急外傷疾患をメインに診療を行っており、特に「関節外科手術」に力を入れています。
これからも山口市広域における整形外科診療に貢献できるよう、また地域の住民の方々の期待に応えられるようスタッフ一同努めてまいります。

皮膚科

Dermatology



当科は日本皮膚科学会認定専門医研修施設です。山口の地域医療に貢献するとともに、山口大学と連携し皮膚科医を育成するという役割も担っています。基本的な外用処置や光線療法に加え、外科的手術、生物学的製剤など、バランス良い治療を行うことを心掛けています。

泌尿器科

Urology



当科は山口大学医学部泌尿器科の関連病院です。1977年に本永先生が部長として赴任されました。現在は5名の泌尿器科医で泌尿器科全般の治療を行っています。今後も山口市の中核施設として地域医療に貢献できるよう努力いたします。

産婦人科

Obstetrics and gynecology



当科は日本産科婦人科学会の専攻医指導施設(総合型)となっています。産婦人科専門医、周産期専門医(母体・胎児)、婦人科腫瘍専門医、女性ヘルスケア専門医、腹腔鏡技術認定医、超音波専門医、臨床遺伝専門医、細胞診専門医が在籍しており、高い専門性と技術を持って母子と女性のために安心・安全な医療を提供します。



眼科

Ophthalmology



白内障、網膜剥離、網膜硝子体疾患に対し内視鏡手術を行っております。加齢黄斑変性、網膜静脈閉塞、糖尿病網膜症に対し抗VEGF療法や必要に応じてレーザー治療を行っております。また、NICUと連携を図り未熟児網膜症に対応しています。
特別に専門的な治療が必要な疾患に関しては、大学病院などの専門医にコンサルトし、協力して治療を行っています。



耳鼻咽喉科

Otorhinolaryngology



耳鼻咽喉科全般の治療を行っていますが、頭頸部がんに対する治療も積極的に行っています。進行がんには手術、放射線、化学療法を併用した集学的治療を、早期がんには機能障害の少ない内視鏡を用いた経口的切除も積極的に行っています。今後も新しい技術を取り入れ、診療に臨んでいきます。



放射線科

Radiology



山口赤十字病院100周年おめでとうございます。執筆時点は、オリンピックの最中で、コロナ禍のため、密となる行事ができないことは残念です。この100年、国民皆保険、高齢者医療費無料化、その後の高齢者医療費自己負担の復活など医療制度の大きな変化がありました。次の100年でも、感染症対策をはじめとして、様々な変化があると思います。これからも日々の精進を怠らず、進歩しつづける画像診断に対応していきます。



麻酔科

Anesthesiology



当院の麻酔科は1992年に開設され、現在の麻酔件数は約2,300件です。麻酔薬、麻酔中のモニターや周術期管理の進歩により、高齢者の麻酔が増えています。今後も新しい知見を取り入れ、安心・安全な麻酔を心がけます。



歯科口腔外科

Dental and Oral Surgery



当院は山口医療圏にある3つの2次救急病院の中で、唯一歯科口腔外科を持つ総合病院で、顎顔面領域の365日途切れぬ救急診療を含めた口腔外科専門医療を提供しています。近年では周術期口腔機能管理などの地域医療連携や、NST、RST、糖尿病患者支援など多職種連携のニーズにも応え、口腔ケアや摂食嚥下リハビリテーション、食支援などの分野で院内全科の患者様へ、より良い治療環境整備・支持を行うため日々努力精進しています。



専門外来



[キャンサーボード]

当院では定期的にカンサーボードを開き、がん治療認定医・がん化学療法認定看護師・がん薬物療法認定薬剤師などによるチーム医療で、患者さんにとって効果的かつ副作用の少ない最適な治療を選んで行っています。



東 3階

産婦人科・院内助産



当病棟は、地域周産期母子医療センターとして、高度で広範囲な周産期医療・看護の提供を目指しています。自律した助産ケア提供のためにアドバンス助産師やNCPR取得など、積極的に能力向上のための自己研鑽に励んでいます。周産期医療を取り巻く環境の変化に応じ、求められる役割を果たせる組織であり続けたいと思います。

NICU・GCU

NICU(新生児集中治療室)は1986年に運用が開始され、以来地域の新生児医療に貢献してきました。2012年には新たにGCU(新生児回復治療室)が併設されました。NICUではわずかな変化も見逃さない観察力、アセスメント能力、判断力が求められます。認定看護師を中心に勉強会、シミュレーションや多職種カンファレンスを行い看護の質向上に取り組んでおります。これからもご家族に寄り添いながらチームで地域の新生児医療を支えていきます。



東 5階

外科、整形外科



当病棟は、外科・整形外科病棟です。「外科系急性期病棟としての役割を果たし、安全で安心できる医療を提供する」を基本理念とし、安心して安全な周術期が過ごせるように、個々のニーズに応じた医療・看護を提供しています。また、専門的知識・技術を習得した多職種との連携を図り、エビデンスに基づいた医療・看護の提供を行っています。

東 6階

外科、婦人科、耳鼻咽喉科



当病棟は、外科・婦人科・耳鼻咽喉科の3科混合病棟です。手術を中心とした急性期治療を受ける患者さんが入院されており、安全で質の高い周期看護の提供を目指し、多職種との連携を図りながらチーム医療を推進しています。患者さんが安心して療養生活を送ることができるよう、スタッフ一丸となってサポートさせていただきます。

東 7階

小児科、眼科、化学療法



当病棟は、小児・眼科・化学療法の混合病棟です。小児においては、未来を担う子どもたちの多岐に渡る小児科疾患及び手術が必要な方を受け入れています。眼科・化学療法では、真摯に治療に向き合っておられる患者さんがご入院されます。私たちスタッフは、専門性を磨き、安全・安心な医療の提供と、患者・家族に寄り添う看護の提供に努めています。

東 8階(緩和ケア)



当病棟は、入院患者さんとそのご家族が穏やかにその人らしく過ごせるように、多くの職種が協働して苦痛な症状の緩和に努めています。そして、患者さんやご家族に寄り添い、あたたかい環境とホスピスマインドをもってケアを提供していきます。今後とも「思い思いの時間をゆっくりと」過ごせるようにお手伝いいたします。

南 3階・HCU

脳神経外科、泌尿器科



当病棟は、脳神経外科・泌尿器科31床・HCU4床を有しています。多職種でのカンファレンスを行い、チーム医療を推進し患者家族の視点に立った看護を実践しています。これからも患者に寄り添ったケアが提供し続けられるようにしていきたいと思っています。



南 5階

内科、循環器内科



当病棟は、高度医療機器を使用した重症患者さんなど内科系の急性期治療を必要とする方を受け入れています。呼吸ケアチームや栄養サポートチーム等の介入によるチーム医療を推進し安全管理に努めています。集中ケア認定看護師1名・男性看護師7名を含む34名で、今後も患者さん・ご家族の心に寄り添う看護を提供していきたいと思っています。

南 6階

内科



当病棟は、内科、脳神経内科を中心にした病棟です。中でも、糖尿病や腎臓疾患は教育入院を行っており、糖尿病については多職種によるチーム医療を立ち上げ、各職種が連携をとりながら糖尿病教育を行っています。また、腎臓疾患でも腎臓教育に力をいれています。これからも、地域の皆様に質の高い医療提供ができるよう、スタッフ一同研鑽を積んでいきます。

中央手術室

Central operating room



中央手術室は日々、高度化、複雑化している手術医療への対応のため多職種連携や研修を行い、安心・安全な手術環境を提供できるように取り組んでいます。手術を受ける患者さんやご家族の不安な気持ちに寄り添い、ともに乗り越えられるように質の高い周術期看護の実践に努めています。

外来

Outpatient

在院日数短縮化・医療の高度化が進む中、外来看護師にはより専門性の高い看護の提供が求められます。外来の処置・検査・治療の中心を担う部署として、スタッフ一同自己研鑽に努めています。100年続いた赤十字精神を引き継ぎ未来へ伝承し、病院の顔として笑顔을忘れず、地域の皆様に寄り添った最高の医療・看護の提供ができるよう、多職種と協働しチーム医療を推進します。



透析センター

Dialysis treatment center



救急処置室

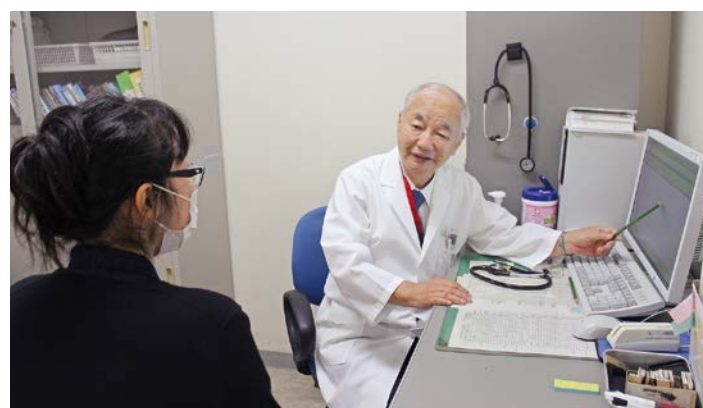
Emergency Room

救急処置室では、患者さんの年齢・性別・国籍に関わらず、24時間救急患者さんを受け入れ、迅速で的確な診療を行っています。その為、感染予防対策を含め、院内体制の整備及び充実に努め適切な医療の提供ができるように自己研鑽に励んでいます。



健診センター

Medical examination center



各種健診（日帰りドック・国保ドック・事業所検診・がん検診など）や特定保健指導、予防接種等を通して、地域の皆様の健康作りのお手伝いをしています。「人生100年時代」を迎える中、「健康な人生を送る」ために、健診を受けて生活習慣病の予防や病気の早期発見にお役立て下さい。

地域医療推進課

Community Health Care Promotion Office

地域医療推進課は「患者家族が安心して医療・介護が受けられる医療圏を目指し、地域の関係機関との切れ目のない連携を図る」ことを理念とし活動しています。医療・介護・福祉等の相談窓口としての役割を果たし、患者家族主体の支援を実践しています。



訪問看護ステーション

Home-visit nursing station



1990年長期入院患者さんの退院に伴う療養支援の目的で、訪問看護の提供が始まりました。自宅で最期まで過ごしたい終末期患者様の看取り支援に広がり1997年3月より訪問看護ステーションとして活動が始まりました。今では院内主治医の利用者数を上回る数の利用者さんを地域の開業医さんと連携して支援させて頂いています。これからも地域に根差した在宅支援を続け、病院と地域をつなぐステーションとして活動していきたいと考えています。

薬剤部

Pharmaceutical department

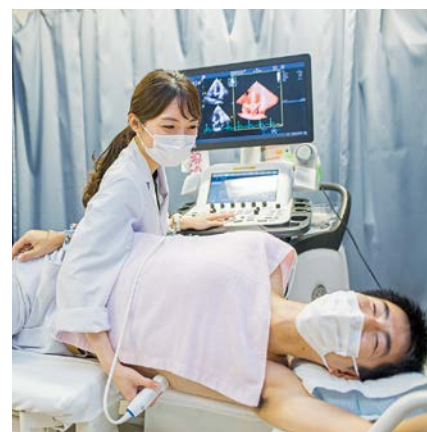


【専門家紹介】

日本薬剤師研修センター 認定薬剤師／日本病院薬剤師会 日病薬病院薬学認定薬剤師／日本医療薬学会 認定薬剤師／日本薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師／日本薬剤師会 JPALS認定薬剤師／糖尿病療養指導士認定機構 日本糖尿病療養指導士資格取得薬剤師／日本アンチ・ドーピング機構(JADA)スポーツファーマシスト／日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師／日本腎臓病薬物療法学会 腎臓病薬物療法認定薬剤師／日本静脈経腸栄養学会 栄養サポートチーム(NST)専門療法士／日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師／日本病院薬剤師会 感染制御専門薬剤師／日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師／日本薬剤師研修センター 小児薬物療法認定薬剤師／日本骨粗鬆症学会 骨粗鬆症マネージャー／日本災害医療学会 PhDLsインストラクター／リウマチ財団登録薬剤師

検査部

Inspection unit



【専門家紹介】

細胞検査士／国際細胞検査士／超音波検査士／認定血液検査技師／認定臨床微生物検査技師／感染制御認定臨床微生物検査技師／認定病理検査技師／認定心電検査技師／JHRS認定心電図専門士／認定一般検査技師／二級臨床検査士(臨床化学、血液学、微生物学、呼吸生理学)／緊急臨床検査士／認定救急検査技師／日本糖尿病療養指導士／診療情報管理士／上級バイオ技術者／毒劇物取扱責任者／健康食品管理士／特定化学物質、四アルキル鉛等作業主任者／有機溶剤作業主任者

総合受付・会計 他

General reception / accounting, etc.

あたたかなおもてなしに努めています。



ドクタークラーク

Doctor clerk

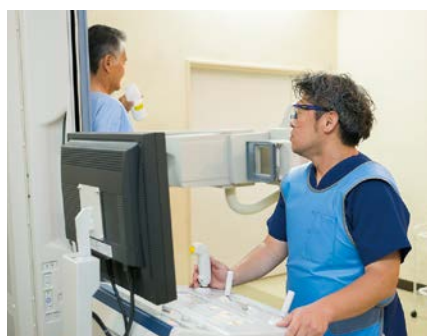
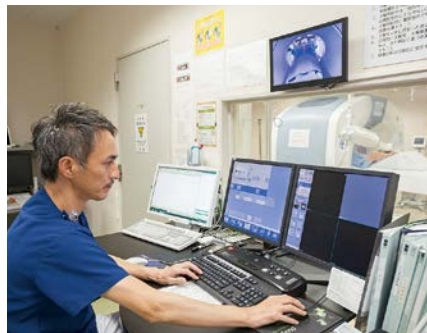
医師の事務作業を補助し、業務の負担軽減に努めています。



放射線科部

Department of Radiology

放射線科部では、医師の依頼のもとでさまざまな装置を使用し診断に有用な画像を撮影し提供しています。画像診断技術の急激な進歩に伴い、診療放射線技師に求められる技術や知識はより専門化・多様化をしてきています。今後も最新の医療技術が提供できるよう日々研鑽し、また、技術のみに頼ることなく患者さん中心の医療を常に心掛けていきたいと思っています。



【専門家紹介】

A i 認定診療放射線技師／第一種放射線取扱主任者／第一種作業環境測定士／第一種衛生管理者／衛生工学衛生管理者／放射線治療専門放射線技師／放射線治療品質管理士／胃がん検診専門技師／日本DMAT隊員／マンモグラフィー認定技師／デジタルマンモグラフィ品質管理士

診療情報管理センター

Medical Information Management Center

入院カルテおよび病歴情報等を適切に管理し、診療現場に迅速かつ正確に提供しています。



リハビリテーション技術課

Rehabilitation Technology Division



東京オリパラの年に創立100周年！

障がいの有無にかかわらず人間らしく生きる権利の回復を目指しリハビリテーションマインドを持ち続け、IT技術等の発展に伴う変化しうる未来に対応できるPT・OT・STに成長し続けます。

【専門家紹介】

3学会合同呼吸療法認定士／認定ICLSコース／赤十字救急法救急員／認定理学療法士(管理・運営)／認定理学療法士(発達障害)／認定理学療法士(スポーツ)／福祉住環境コーディネーター二級／障害者スポーツトレーナー／中級障害者スポーツ指導員／初級障害者スポーツ指導員／心臓リハビリテーション指導士／転倒予防指導士／リウマチ財団登録作業療法士

用度課・SPD

Usage section / Supply Processing Distribution

医療用材料や一般消耗品などを円滑に各部署へ届けています。



栄養課

Nutrition section

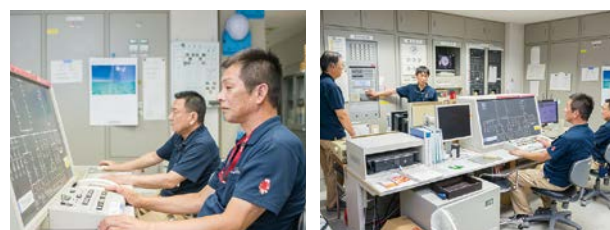
栄養ケアは全ての疾病治療の基本です。栄養課では電算化された医療情報を元に多職種と連携し、一人一人に最適な食事の提供と栄養指導を行っています。食事は「おいしく・美しく」をモットーに提供し、患者さんからも好評を得ています。転院時には栄養サマリーを作成し地域連携にも力を注いでいます。



管財課

Nursing Department

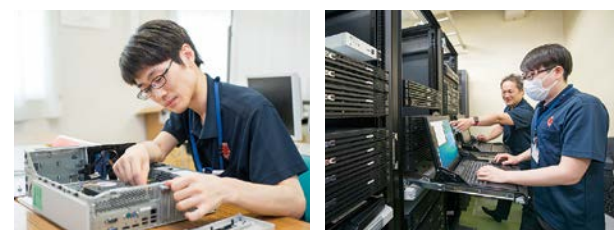
院内のインフラを守っています。



医療情報課

Medical Safety

院内情報を統括しています。



臨床工学技術課

ME section

臨床工学技士は医療機器の専門として、人工呼吸・血液浄化・不整脈・消化器内視鏡・手術・教育・保守管理等の分野で、スタッフと患者さんの間を取り持つ役割を果たしています。技術や知識向上に努め、医療機器の安全使用に貢献していきます。



【専門家紹介】

3学会合同呼吸療法認定士／透析療法認定士／臨床ME専門認定士／不整脈治療専門臨床工学技士／ICLSコース受講／ICLSインストラクター／日本DMAT隊員

事務部（総務企画課・会計課・人事課・医事課・病棟建設課）

Purser department

病院が円滑に運営できるよう下支えしています。

